

鋼材価格改定について

日本高周波鋼業株式会社(社長 池田辰雄)は、2008年10月納入分から金型・工具用鋼材全般におきまして、原材料、エネルギーおよび副資材価格などの価格高騰に対する製品価格の改訂を実施いたします。

本年7月まで、鉄スクラップおよびクロム市況は未曾有の高騰局面となり、弊社の製造コストを大きく上昇させる要因となりました。

8月には鉄スクラップ価格は調整局面となりましたが、世界の鉄鋼需要は旺盛な状況が続いており、それに伴い鉄鋼原料全般はタイトに推移し、今後も予断を許さない状況であります。

弊社としては今後も鋼材の安定品質・安定供給に努めて参りますので、かかる状況をご賢察いただき、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、今後の鉄スクラップ市況・その他副資材価格の動向次第では、さらなる価格改定も検討せざるを得ないと考えております。

敬具

—記—

## (1)対象・改定幅

分類	鋼種名	価格改定幅
冷間ダイス鋼	KD11S、KD11など	5~10%
熱間ダイス鋼	KDA1S、KDAなど	
フレームハート鋼	KRCXなど	
合金工具鋼	K3M、KS3	
高速度鋼	SKH51など	
軸受鋼	SUJ2など	

## (2)実施時期

2008年10月契約分より

以上